ひの御実は辛くなくてあつた。

片町驛頭の大血戦

個田臨側は平地へは僅協会と称せられた合冒態に徴する思ひでり上げたが片町驛に下車するやたちまちにして此驛頭に統合側は迎へ呈ふ力に依つて迎撃するのであつた。統合側は猫一味内の拝見町驛にて下車したが下車すると忽ち待構へる同盟と他所にち格闘を始め恰も戦街戦の如き光景なる乏景を呈し山陽は蜂めて作で開かん。統合側は何等此暴を排へ行つてねばならなかつたが、個田臨側は短刀、鉄棒、棍棒、青竹と雑多な武器を持ち全くたちまち伏せられ半死半生の体にて多くを捧して